

図書だより 1月号

としょしつ 図書室へ行こう!



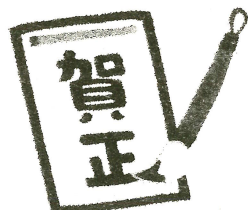
ふなはしりつならしのだいたいしやうがっこう としよぶ
船橋市立習志野台第一小学校 図書部

☆うちのひととよんでね。

【あけましておめでとうございます】

新しい年になりました。寒い日が続いていますが、風邪をひいていませんか？寒さに負けないよう、外から帰ってきたら手あらいをしっかりと、あたたかい部屋で本をゆっくり読みましょう。

1月末に新しい本が入ります、お楽しみに。



【冬休み用に借りた本は】

1月16日（金）までの図書の時間に返しましょう。

借りた本をすべて返した人から貸出開始です。手さげにすべて入っているか、確認して持ってくるようにしましょう！

【今年は午年です。うまクイズにチャレンジ!】

① 馬は鼻息が荒い動物です。その理由はなんでしょう？

1. 口では呼吸できないから
2. いつも興奮しているから
3. 息をするのが下手くそだから

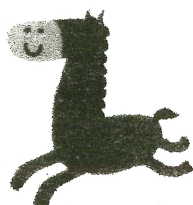
② シマウマの鳴き声はどれでしょう？

1. ヒヒーン
2. モーモー
3. ワンワン

③ 馬が耳を後ろに倒している時、馬はどんな気持ちでしょう？

1. 怒っている
2. リラックスしている
3. 喜んでいる

こたえは...? 右のページ!



① 1. 口では呼吸できないから

私たち人間は口でも鼻でも呼吸ができます。

しかし、馬は鼻で呼吸することはできません。走る時は空気をたくさん吸い込めるように鼻の穴を大きく開こうとするので特に鼻息が荒くなります。

② 3. ワンワン

シマウマは、馬の仲間なのに「ワンワン」とまるで犬のように鳴きます。

③ 1. 怒っている

馬が耳を後ろに倒すのは怒っていたり、興奮したりしているサインです。

耳が横向きにダランと下がっている時は、リラックスしているサインです。

動物園に行くことがあったら、ぜひじっくりシマウマを観察してみてください。

【薦の出てくる本】



「ナルニア国物語 ⑤馬と少年」C・Sルイス作/瀬田貞二訳

南国の少年シャスタは父にどれいとして売られそうになり、しゃべる馬といっしょに逃げ出します。旅の途中シャスタは自分とそっくりの王子と入れ替わり、ナルニアへの秘密の攻撃計画を知ります。シャスタはその計画を止めることができるのでしょうか？一巻からのナルニア国のお話とは少し違う雰囲気、スピンオフストーリー。



「動物と話せる少女リリアーネ⑤」タニヤ・シュテプナー著/中村智子訳

リリアーネは友だちの牧場で、ある馬に出会います。ほかの馬とはずぐに仲良くなったのに、一頭だけは心を開いてくれません。じつはその馬はあることにおびえ、傷ついていたのです。傷ついた動物のためにリリアーネが大活躍するお話です。

※ほかにも季節のおすすめコーナーに馬の出てくる本を集めました。ぜひ借りてくださいね!

【1月からの図書】

三つの約束（手あらい、名札、本の入った手さげ）を忘れないでくださいね。来年度へ向けて習慣にしましょう。読書まつりで使ったおだんご読書履歴カードは、これからも記録していくので捨てないでください!

本の分類や返す場所について、毎回勉強しているので、しっかり理解できたと思います。本の整理の達人もたくさんいるのではないのでしょうか？冬からは今まで読んだおもしろかった本、大好きな本を友だちにしょうかいしあって、知らなかった本を知る、すてきな時間にいきましょう!

